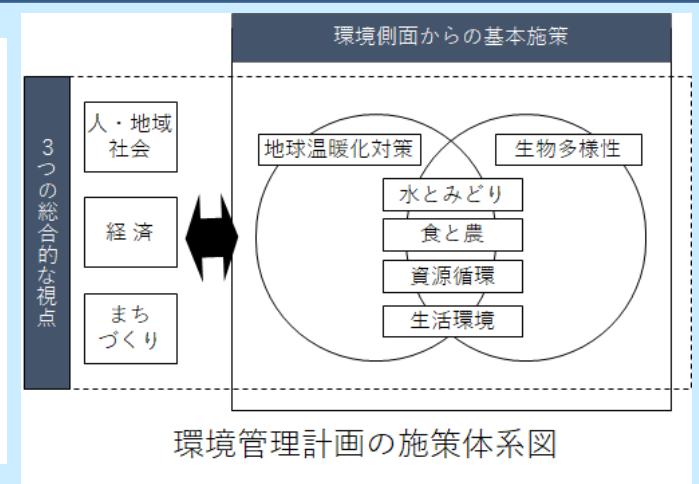


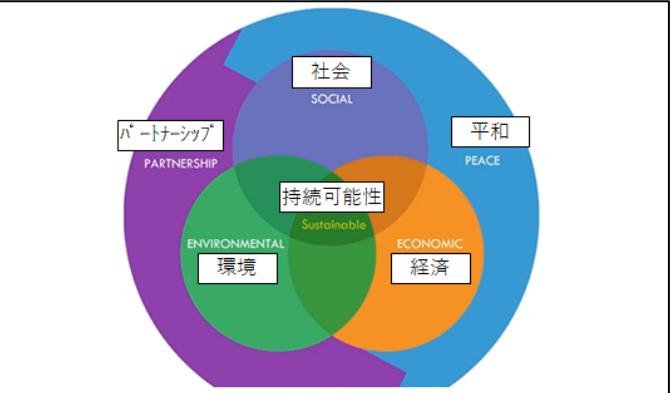
横浜市の環境施策と持続可能な開発目標(SDGs)の関連について

- 既に横浜市は環境管理計画の中で、**環境側面からの6つの環境施策**(温暖化対策、生物多様性、水とみどり、食と農、資源循環、生活環境)に加えて、**3つの横断的な視点**(人・地域社会、経済、まちづくり)による施策体系を構築し、**総合的・横断的に取組を進めています**。これは、SDGsの基本的な考え方であるパートナーシップの必要性や経済、社会、環境の調和が必要であるとの考え方と同じ方向性です。
- 今回、横浜市の主な環境施策とSDGsの関連性を確認した結果、本市はSDGsの13ゴール(環境関連の12ゴールとゴール17)に関する環境施策を推進していることがわかりました。
- SDGsの方向性も踏まえながら、**3つの横断的な視点**(人・地域社会、経済、まちづくり)の強化、**多様な主体間の連携**を図り、総合的な環境施策を一層進めていきます。



持続可能な開発目標(SDGs)とは

- 2015年9月の国連総会で採択された、開発途上国に限らず先進国を含む国際社会全体が取り組む目標で、すべての国、すべての関係者が地球規模の**パートナーシップの下に取り組むもの**
- 持続可能な開発を「**経済、社会及び環境**」の3つの側面が調和された形で達成するためのもの
- 17のゴールと、各ゴールに設定された具体的な**169のターゲット**から構成され、**相互に関連し不可分のもの**
- SDGs推進本部(内閣府)が「持続可能な開発目標(SDGs)実施指針」(2016年12月)を策定し、「持続可能で強靱、そして誰一人取り残さない、経済、社会、環境の統合的向上が実現された未来への先駆者を目指す」というビジョンを掲示
- SDGs実施にあたっては、NPO、民間セクター、地方自治体などの広範なステークホルダーとの連携が必要であることや、地方自治体が各種計画等の策定や改定にあたってはSDGsの要素を最大限反映することを奨励
- 環境省では「17のゴールのうち、少なくとも**12のゴール**が環境に関連」としている



国連広報センター「持続可能な開発目標とは何か (YouTube)」より

環境施策とSDGsの関連

【主な環境施策とSDGsとの関連表(案)】

「持続可能な開発目標」 Sustainable Development Goals SDGs	横浜市の環境施策の6つの分野					
	地球温暖化対策	生物多様性	水とみどり	食と農	資源循環	生活環境
1 貧困の撲滅						
2 飢餓撲滅、食料安全保障			2			
3 健康・福祉	3				3	3
4 質の高い教育、生涯学習	4	4	4	4	4	4
5 ジェンダー平等						
6 水・衛生の持続可能な管理		6	6		6	6
7 持続可能なエネルギーへのアクセス	7				7	
8 包摂的で持続可能な経済成長、雇用	8			8		8
9 強靱なインフラ、産業化・イノベーション	9			9		9
10 国内と国家間の不平等の是正						
11 持続可能な都市	11	11	11	11	11	11
12 持続可能な消費と生産	12	12	12	12	12	12
13 気候変動への対処	13	13	13	13	13	13
14 海洋と海洋資源の保全・持続可能な利用	14				14	
15 陸域生態系、森林管理、砂漠化への対処、生物多様性		15	15			
16 平和で包摂的な社会の促進						
17 実施手段の強化と持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップの活性化	17	17	17	17	17	17

※SDGsの各ゴールは相互に関連しているため、施策は様々なゴールにつながる可能性がある。この表では、**主な環境施策との関連性を明瞭にするため、関連性の強いゴールのみをマークしている。**

事例1 水素の利活用



横浜市では水素の利活用を推進しています。燃料電池自動車や水素ステーション、エネファーム等の普及拡大に努めているほか、水素サプライチェーン構築の実証事業に参画するなど、先進的な取組も行っています。

これらの取組はエネルギーの効率的な利用、エネルギー供給のためのインフラ整備、地球温暖化対策(緩和策)にも関連しています。



水素の利活用が推進されることにより、二酸化炭素の排出が抑制されると同時に大気汚染物質の排出も抑制されます。結果として大気環境の保全や気候変動の緩和により、生物多様性の保全にもつながっていきます。



事例2 市内小学生の取組と国内外の環境保全へのつながり



子ども「エコ活。」大作戦!は、夏休み中に市内小学生が、「エコライフ・チェックシート」を使って、「横浜産の野菜・果物などを食べる」「水筒(マイボトル)を使う」など、省エネ、生物多様性、3R、地産地消等の様々な環境行動に取り組めます。

写真提供: WFP/ Mei Nebreia Santos



その取組を横浜市環境保全協議会と横浜商工会議所の会員企業が応援し、協賛金が国内外の環境保全活動に寄付されます。

例: フィリピン ミンダナオ島の環境保全活動(国連の食糧支援機関「国連WFP」)

